

CASBEE-広島（2010年ver.1） (仮称)カルチェヴェールA棟新築工事			用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります		■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版					
			欄に数値またはコメントを記入		■ベース評価ソフト： CASBEE-NCb_2008(v.3.2)					
スコアシート			実施設計段階							
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
				評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.5		
Q1 室内環境								2.4		
1 音環境				2.6	0.15	2.6	1.00	2.6		
1.1 騒音			住戸サッシ T-1等級 遮音 SOI-9083号	3.0	0.40	3.0	0.40			
1 暗騒音レベル		3.0		1.00	3.0	1.00				
2 設備騒音対策				-		-				
1.2 遮音				3.0	0.40	3.0	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0		1.00	3.0	0.30				
2 界壁遮音性能				-	3.0	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	3.0	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	3.0	0.20				
1.3 吸音				1.0	0.20	1.0	0.20			
2 温熱環境					2.0	0.35	2.0		1.00	2.0
2.1 室温制御			全住戸LDK南側の開口面積を大きく確保 カーテン、庇等の組み合わせによる	2.0	1.00	2.0	1.00			
1 室温設定		-		-	-	-				
2 負荷変動・追従制御性				-		-				
3 外皮性能		2.0		1.00	2.0	1.00				
4 ゾーン別制御性				-		-				
5 温度・湿度制御				-		-				
6 個別制御				-		-				
7 時間外空調に対する配慮				-		-				
8 監視システム				-		-				
2.2 湿度制御				-	-	-	-			
2.3 空調方式				-	-	-	-			
3 光・視環境					2.7	0.25	2.4		1.00	2.4
3.1 昼光利用				全住戸LDK南側の開口面積を大きく確保	3.0	0.30	3.0		0.35	
1 昼光率		-			-	3.0	0.50			
2 方位別開口					-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0			1.00	3.0	0.20			
3.2 グレア対策					2.0	0.30	3.0		0.35	
1 照明器具のグレア			-			-				
2 昼光制御		2.0	1.00		3.0	1.00				
3.3 照度			3.0		0.15	-	-			
1 照度		3.0	1.00		-	-				
2 照度均斉度			-			-				
3.4 照明制御			3.0	0.25	1.0	0.29				
4 空気質環境				3.0	0.25	3.0	1.00	3.0		
4.1 発生源対策			住戸の内装建材はほぼ全てにF☆☆☆☆を使用	3.0	0.60	3.0	0.63			
1 化学汚染物質		3.0		1.00	3.0	1.00				
2 アスベスト対策				-		-				
3 ダニ・カビ等				-		-				
4 レジオネラ対策				-		-				
4.2 換気				3.0	0.40	3.0	0.38			
1 換気量		3.0		0.50	3.0	0.33				
2 自然換気性能		3.0		-	3.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮		3.0		0.50	3.0	0.33				
4 給気計画				-		-				
4.3 運用管理				-	-		-			
1 CO ₂ の監視		1.0		-	-	-				
2 喫煙の制御		1.0		-	-	-				
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.5		
1 機能性				2.2	0.40	2.2	1.00	2.2		
1.1 機能性・使いやすさ			ほぼ全ての住戸天井高がH=2.5m以上	3.0	0.60	2.0	0.60			
1 広さ・収納性		1.0		-	5.0	-				
2 高度情報通信設備対応		2.0		-	2.0	1.00				
3 バリアフリー計画		3.0		1.00		-				
1.2 心理性・快適性				1.0	0.40	2.5	0.40			
1 広さ感・景観				-	4.0	0.50				
2 リフレッシュスペース				-		-				
3 内装計画		1.0		1.00	1.0	0.50				
1.3 維持管理				-	-		-			
1 維持管理に配慮した設計				-		-				
2 維持管理用機能の確保				-		-				
2 耐用性・信頼性					2.8	0.31			-	2.8
2.1 耐震・免震				3.0	0.48		-			
1 耐震性		3.0		0.80		-				
2 免震・制振性能		3.0		0.20		-				
2.2 部品・部材の耐用年数				2.9	0.33		-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0		0.23		-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0		0.23		-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0		0.09		-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0		0.08		-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0		0.15		-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0		0.23		-				

2.3 適切な更新				-	-	-	-	
2.4 信頼性				2.6	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-		
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-		
3	電気設備		3.0	0.20	-	-		
4	機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-		
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-		
3 対応性・更新性				2.2	0.29	2.6	1.00	2.5
3.1 空間のゆとり				-	-	2.2	0.50	
1	階高のゆとり		1.0	-	3.0	0.60		
2	空間の形状・自由さ		1.0	-	1.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり				3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				2.2	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-		
2	給排水管の更新性		1.0	0.17	-	-		
3	電気配線の更新性		1.0	0.11	-	-		
4	通信配線の更新性		1.0	0.11	-	-		
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-		
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			壁面後退で圧迫感を低減させている。まちなみに良好な景観形成。	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.4
1 建物の熱負荷抑制				3.0	0.40	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化			設備関係について高効率製品を使用	4.0	0.40	-	-	4.0
4 効率的運用				-	-	-	-	-
4.1	モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制			3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護				3.0	0.15	-	-	3.0
1.1	節水		設備機器は節水用及び節水機能型を使用	3.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00	-	-	
2	雑排水再利システム導入の有無			3.0	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.7	0.63	-	-	2.7
2.1	材料使用量の削減			2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		再利用できるユニット部材を用いている。	4.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.2	0.22	-	-	3.2
3.1	有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避			3.3	0.68	-	-	
1	消火剤	ハロン消火剤の使用なし	4.0	0.33	-	-		
2	断熱材		3.0	0.33	-	-		
3	冷媒		3.0	0.33	-	-		
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	2.7
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率が参照値に対して96%	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮				1.9	0.33	-	-	1.9
2.1	大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善			1.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-		
2	污水处理負荷抑制		3.0	0.33	-	-		
3	交通負荷抑制	適切な駐車場、駐輪場の確保	4.0	0.33	-	-		
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.33	-	-		
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-		
2	振動		3.0	0.33	-	-		
3	悪臭		3.0	0.33	-	-		
3.2 風害、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-		
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-		
3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明なし	4.0	0.70	-	-		
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-		